

## 新久喜総合病院新棟完成

令和3年4月に新久喜総合病院の新棟が完成し、稼働が開始されました。新棟の完成により、本市を含む利根保健医療圏最大となるICU（集中治療室）とHCU（高度治療室）が設置され、病床数が一般病床と合わせて47床増え391床となったほか、リハビリ室の拡張、最新の放射線治療室が整備され、医療提供体制の充実が図られました。

種別	病床数 (完成前)	病床数 (完成後)
一般	226床	259床
ICU(集中治療室)	8床	18床
HCU(高度治療室)	12床	16床
回復期	98床	98床
計	344床	391床



新棟の外観

また、同病院は埼玉県知事の認定を受け、4月1日に社会医療法人に移行しました。救急医療など公益性の高い地域医療の担い手として、今後も活躍が期待されます。

問 健康医療課地域医療係（内線3423）

## 骨の健康チェック

日 5月21日(金) 受付時間 ①9時 ②9時30分  
③10時 ④10時30分 ⑤11時 ⑥13時30分  
⑦14時 ⑧14時30分 ⑨15時 ※時間予約制

場 栗橋保健センター

内 超音波法による骨密度測定、栄養の話

対 20歳以上の市内在住者 定 各10人（申込順）

※かかとでの測定のため、着脱しやすい靴下等でお越しください。

申込開始 5月7日(金)

申込方法 直接または電話で、栗橋保健センターへ

## 5月1日～6月30日は「不正大麻・けし撲滅運動」期間です

大麻の使用は有害で、不正栽培・所持は犯罪です。また、「けし」には法律で栽培が禁止されている種類があります。特に大麻は「海外で合法化されているから害がない」などといった誤った情報が広まり、若年層への乱用の拡大が懸念されています。正しい情報を知り、自分の身を守りましょう。大麻や栽培してはいけない「けし」を発見したら、保健所までご連絡ください。

問 幸手保健所 ☎42-1101

このように「遊歴の儒者」として知られる菊池城ですが、「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一との関係が特に知られています。栄一が幼い頃、菊池は現在の深谷市に私塾「本材精舎」を開きました。この塾は栄一の伯父にあたる渋沢宗助宅を使用したもので

菊池菊池は、天明5年(1785)に武蔵国埼玉郡台村、現在の久喜市菖蒲町台に生まれました。幼い頃から学問好きで、20歳の時に江戸に出て儒学を学びました。学問を修めた後は、亡くなるまでの約50年間にわたり、現在の埼玉県、東京都、神奈川県、静岡県、山梨県、新潟県、富山県などを回り、人々に儒学を教えています。その教えを受けた人は、一説に2千人とも3千人とも言われています。



菊池城が所有していた書籍（郷土資料館蔵）



## 連載 久喜歴史だより(第114回)

### 渋沢栄一にも教えた儒学者

### 菊池菊池

歴史に名を残す人々にも教えていた菊池は、晩年を過ごしていた現在の神奈川県愛川町で約80年の生涯を閉じました。同地の勝楽寺には菊池の墓が残されています。

後に栄一が師事する尾高惇忠は菊池の教えを受けていました。栄一自身は、安政元年(1854)頃に菊池の講義を3、4回聞いたことがあり、講義をよく解釈したので褒められた事を覚えていて、と後年に語っています。

また、菊池は後に新選組の隊士となる人々とも関係があったと言われています。菊池は、嘉永4年(1851)から万延2年(1861)まで、現在の東京都町田市の小島家でたびたび講義を行っていました。同家の鹿之助は、後に新選組局長となる近藤勇と義兄弟の契りを結んでいたと言われており、近藤や土方歳三、沖田総司などが剣術稽古のため同家に入り込んでいました。菊池と近藤達が出入りにしていた時期が重なることから、彼らが菊池の教えを受けていたとも考えられています。

問合せ 文化財保護課文化財・歴史資料係(内線2332)